

ヌカイタチシダマガイ

学名 *Dryopteris simasakii* (H.Ito) Kurata

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(豊後水道後背地域, 石灰岩地域)
分布域	本州(静岡県以西), 四国, 九州(熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地～丘陵地の林内・崖地。
現 状	豊後水道後背地域と石灰岩地域で採集された記録がある。
備 考	

タニヘゴ

学名 *Dryopteris tokyoensis* (Matsum. ex Makino) C.Chr.

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 *Dryopteridaceae*

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



[選定理由]

北海道、本州に主な分布域を有し、四国・九州での生育地は少ない。本県では土地造成や道路工事、湿地の遷移進行などにより、生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島・中国
生育環境	丘陵地～低山地の湿地や湿った林内。
現 状	湿地の遷移進行や周辺での観光地開発等により, 生育地の狭小化や個体数の減少が著しい。
備 考	

ツルデンド

学名 *Polystichum craspedosorum* (Maxim.) Diels

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

北海道から九州に分布域をもつ小型のシダ植物。本県では石灰岩の採掘，林道工事，森林伐採などにより生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区，津江山地，大分川・大野川丘陵地，石灰岩地域，北川上流域
分布域	北海道，本州，四国，九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎），沖縄
世界的分布	朝鮮半島，中国，ロシア東部
生育環境	丘陵地のやや湿った岩上や斜面に着生。
現 状	主に石灰岩地域に分布するが，その他の地域のものは個体数が少ない。
備 考	

タチデンド

学名 *Polystichum deltodon* (Bak.) Diels

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし



[選定理由]

山口県, 高知県と九州の石灰岩地域に分布する。本県の生育地では個体数もごくわずかで, 石灰岩の採掘による環境悪化や踏み付けなどにより絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	石灰岩地域
分布域	本州(山口), 四国(高知), 九州(福岡・長崎・大分・熊本)
世界的分布	中国, 台湾, ベトナム, フィリピン
生育環境	低地の常緑樹林内の石灰岩上に着生。
現 状	石灰岩の採掘等で生育地が狭小化し, 個体数も減少している。
備 考	

チャボイノデ

学名 *Polystichum igaense* Tagawa

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

本州以西に分布するが、九州での分布は極めて希である。本県では、過去に「九重火山群」で採集された標本はあるが、以降生育が確認されていなかった。2009年に同地区内に新たな生育地が確認された。確認されたのは1個体だけで、生育地も耕作地に近接しており、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群
分布域	本州(関東地方～近畿地方), 四国, 九州(大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地～低山地の林内・林縁。
現 状	1個体だけが生育しており、生育地も耕作地に近接している。
備 考	

アイアスカイノデ

学名 *Polystichum longifrons* Kurata

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

本州以南に広く分布しているが、九州・四国では希である。本県ではスギ植林内に生じることが多く、伐採や林道工事で消滅した生育地もある。

県内分布	津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大野川上流域
分布域	本州(東北地方以南), 四国(香川・高知), 九州(佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地～低山地の林内。
現状	生育地のほとんどがスギ植林内であるため、スギ伐採で消滅、あるいは個体数が激減した所もある。
備考	日本固有種

ナンピイノデ

学名 *Polystichum otomasui* Kurata

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 *Dryopteridaceae*

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



[選定理由]

これまで熊本・宮崎県の一部地域に分布するとされていたが、2005年に本県での生育が確認された。スギ植林内に群生しているものの、生育面積は狭く、スギの伐採による生育地の消滅が危惧される。

県内分布	津江山地
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の林内。
現状	スギ植林内に群生しているが、生育範囲は狭い。
備考	

サカゲイノデ

学名 *Polystichum retroso-paleaceum* (Kodama) Tagawa

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



【選定理由】

温帯性のシダ植物で、中国・四国地方では一部の地域に分布が限られている。1995年に九州では初めて、耶馬溪地区で自生が確認された。生育範囲が狭く、周辺でスギの伐採が進んでおり、絶滅の危険性が高まっている。近年は、シカによる食害も顕著である。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (大分)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地の林内・林縁。
現 状	スギ植林内や林道沿いの狭い範囲に集中して生育しており、個体数は多くない。シカの食害で個体数が減少している。
備 考	日本における分布の西限域

ホソバシヨリマ

学名 *Thelypteris beddomei* (Bak.) Ching

目名

目名学名

科名 ヒメシダ科

科名学名 Thelypteridaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

静岡県以西に広く分布するが、生育地は少ない。本県では耶馬溪地区に2か所の生育地があったが、1か所は砂防ダムの建設で消滅、もう1か所はシカの食害で消滅寸前の状態である。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	本州(静岡県以西)、四国、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	韓国済州島、インド、スリランカからニューギニア
生育環境	丘陵地の林内の多湿地。
現 状	1か所はスギ植林内の多湿地に群生していたが、砂防ダムの建設で消滅した。もう1か所では、シカの食害で絶滅寸前の状態である。
備 考	

ヨコグラヒメワラビ

学名 *Thelypteris hattorii* (H.Ito) Tagawa

目名

目名学名

科名 ヒメシダ科

科名学名 Thelypteridaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



[選定理由]

本州中部地方以西に希に分布する。本県では比較的標高の高い山地で確認されている。尾根の登山道沿いに生えていることが多く、踏み付けや森林伐採などによる生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 北川上流域
分布域	本州(中部地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国南部・南西部
生育環境	低山地の林内や林縁。
現状	踏み付け被害などの人為作用で、個体数が減少している生育地が多くなっている。
備考	

テツホシダ

学名 *Thelypteris interrupta* (Willd.) K.Iwats.

目名

目名学名

科名 ヒメシダ科

科名学名 Thelypteridaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

静岡県以西の沿海地から低地の多湿地に群生する亜熱帯性のシダ植物。本県では土地造成や湿地の遷移進行などにより、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域
分布域	本州(静岡県以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	中国, 台湾, 東南アジアから世界の熱帯・亜熱帯地域
生育環境	沿海地～低地の湿地。
現 状	温泉水の流れる排水溝周辺やため池上辺の湿地に生育するが, 排水溝の整備や湿地の遷移進行により個体数の減少が著しい。
備 考	

ミヤマワラビ

学名 *Thelypteris phegopteris* (L.) Slosson ex Rydb.

目名

目名学名

科名 ヒメシダ科

科名学名 Thelypteridaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(祖母・傾山地)
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 台湾, ヒマラヤ, ロシア, ヨーロッパ, 北アメリカ
生育環境	
現 状	1978年に祖母山で採集された標本があるが, それ以降は生育が確認されていない。
備 考	

ミドリヒメワラビ

学名 *Thelypteris viridifrons* Tagawa

目名

目名学名

科名 ヒメシダ科

科名学名 Thelypteridaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし



[選定理由]

県内分布	(日田低地・丘陵地, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地)
分布域	本州(東北地方以南), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島南部, 中国南部
生育環境	低地から丘陵地の林内・林縁。
現状	県内の低地から丘陵地にかけて散見される。
備考	

イヌイワデンダ

学名 *Woodsia intermedia* Tagawa

目名

目名学名

科名 イワデンダ科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(国東地区)
分布域	本州(東北地方以南), 四国, 九州(福岡・佐賀・大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国
生育環境	丘陵地の林内の岩上。
現 状	本県では1965年に国東地区で採集された標本がある。
備 考	

コガネシダ

学名 *Woodsia macrochlaena* Mett. ex Kuhn

目名

目名学名

科名 イワデンド科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし



【選定理由】

東北地方以南に点在的に分布する。県下各地に生育地が散在しているが、個体数はどこも少ない。道路工事や岩面の掘削、吹付工事などで消滅した生育地が増えている。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島, 中国北部, ロシア東部
生育環境	丘陵地や低山地の林縁の岩上。
現 状	生育地は点在するが、個体数はどこも少ない。消滅した生育地も多くなっている。
備 考	

イワデンダ

学名 *Woodsia polystichoides* Eaton

目名

目名学名

科名 イワデンダ科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリ 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



[選定理由]

北海道から九州まで広く分布するが、九州では希である。本県では比較的多くの生育地があるが、岩面の掘削工事や遷移進行などで消滅した所がある。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 津江山地, 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	樺太, 千島, 朝鮮半島, 台湾, 東アジア
生育環境	丘陵地から山地までの日当たりのよい岩上や石垣。
現 状	耶馬溪・国東丘陵地では生育状況も比較的安定しているが、個体数は多くはない。他の地域ではごく希である。
備 考	

ミヤコイヌワラビ

学名 *Athyrium frangulum* Tagawa

目名

目名学名

科名 イワデンド科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

関東地方以西に広く分布するが、分布量は少ない。本県では過去に数か所で採集されているが、近年確認されていなかったり、現存していても個体数はごくわずかで、絶滅の危険性が高まっている。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 九重火山群, 北川上流域
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から低山地の湿った林内。
現状	スギ植林内の多湿地に生育している。個体数は少なく、消滅寸前の状態である。
備考	

ツクシイヌワラビ

学名 *Athyrium kuratae* Serizawa

目名

目名学名

科名 イワデンドコ科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：掲載なし



【選定理由】

中部地方以西から九州に分布する。本県では生育地も少なく、溪流沿いの岩上や林内に生じるため、風水害による生育地の消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 津江山地, 北川上流域
分布域	本州(中部地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国, 台湾
生育環境	丘陵地や低山地の溪流沿いの岩上や林内。
現 状	生育地における生育範囲はどこも狭く, 個体数も少ない。国東地区, 北川上流域の生育地では, シカの食害により消滅寸前の状態である。
備 考	

シイバサトメシダ

学名 *Athyrium neglectum* Serizawa subsp. australe Serizawa

目名

目名学名

科名 イワデンドク科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省： I A (CR)



[選定理由]

四国山地や九州山地の山頂近くのブナ帯に生育する。本県での生育地も標高の高い山地に限られる。動物による食害により絶滅寸前の状態である。

県内分布	九重火山群, 祖母・傾山地
分布域	四国(徳島・愛媛), 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	山地の草地や林縁。
現 状	シカの食害により絶滅寸前の状態である。
備 考	

サカバサトメシダ

学名 *Athyrium palustre* Serizawa

目名

目名学名

科名 イワデンド科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I B (EN)



[選定理由]

県内分布	(九重火山群)
分布域	四国(高知), 九州(福岡・佐賀・大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地の湿地や河川の周辺。
現 状	本県では過去に採集された標本があるが, 近年生育が確認されていない。
備 考	日本固有種

コモチイヌワラビ

学名 *Athyrium strigillosum* (Lowe) Salomon

目名

目名学名

科名 イワデンド科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省： I A (CR)



【選定理由】

これまで屋久島と熊本県の一部地域のみで確認されていたが、2000年に本県での自生を確認した。生息地では、狭い範囲にわずかな個体が生育しているだけで、風水害による絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群
分布域	九州(熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	台湾, 中国南西部からヒマラヤ
生育環境	丘陵地の林内の溪流辺。
現 状	溪流辺や湧水地周辺にわずかな個体が生育している。
備 考	日本における分布の北限域

ハコネシケチシダ

学名 *Cornopteris christenseniana* (Koidz.) Tagawa

目名

目名学名

科名 イワデンド科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



【選定理由】

北海道を除く全国に分布しているが、分布量は少ない。本県での分布はごく希で、森林伐採や林道工事などにより消滅した生育地がある。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 北川上流域
分布域	本州(東北地方以南), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	低山地の湿った林内。
現 状	生育地では生育範囲が極めて狭く、個体数も少ない。北川上流域での生育は確認できなかった。
備 考	

アソシケシダ

学名 *Deparia otomasui* (Kurata) Serizawa

目名

目名学名

科名 イワデンドク科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)



[選定理由]

愛媛・熊本・大分・宮崎県の限られた範囲にのみ分布する。森林伐採等による生育地の狭小化やマニアによる採集などで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 大分川・大野川丘陵地
分布域	四国(愛媛), 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地のやや湿った林内。
現 状	本県では数か所で生育が確認されているが、生育環境の悪化などで個体数が減少している。
備 考	

フモトシケシダ

学名 *Deparia pseudoconilii* (Serizawa) Serizawa

目名

目名学名

科名 イワデンドコ科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県：準(N.T) 環境省：掲載なし



【選定理由】

日本固有種で、東北地方以南に分布するが量は少ない。県内では山地に希に分布し、道路工事や土地造成などで消滅した生育地もある。

県内分布	耶馬溪地区, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州(東北地方以南), 四国(徳島), 九州(福岡・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地のやや日当たりのよい林内や林縁, 路肩。
現 状	九重火山群には比較的多くの生育地があるが, 観光地化が進んでおり, 個体数が減少している。その他の地域では, 生育地・個体数とも少ない。
備 考	

オオヒメワラビモドキ

学名 *Deparia unifurcata* (Bak.) M.Kato

目名

目名学名

科名 イワデンドク科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県：準(N.T) 環境省：掲載なし



【選定理由】

全国的に分布域が限られており、本県でも生育地は少ない。溪流沿いや崖地下部の多湿地に群生し、道路工事や護岸工事、遊歩道整備などにより生育環境が悪化し、消滅が危惧される生育地がある。

県内分布	耶馬溪地区, 日田低地・丘陵地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地
分布域	本州(東北地方以南), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	台湾, 中国南西部, インドシナ
生育環境	丘陵地や低山地の林内・林縁・崖地の多湿地。
現 状	県内の生育地では通常群生するが, 個体数が激減した所もある。
備 考	

ミドリワラビ

学名 *Deparia viridifrons* (Makino) M.Kato

目名

目名学名

科名 イワデンドク科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

本州から九州まで広く分布するが、分布量は少ない。本県での分布は希で、森林伐採や林道工事で消滅した生育地がある。

県内分布	日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 豊後水道後背地域
分布域	本州(東北地方以南), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国
生育環境	低地から低山地の湿った林内。
現 状	生育地のほとんどがスギ植林内で、個体数もわずかである。伐採や林道工事で消滅した生育地がある。
備 考	

イワヤシダ

学名 *Diplazium cavalerianum* (Christ) M.Kato

目名

目名学名

科名 イワデンド科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし



【選定理由】

東北地方以南から九州にかけて広く分布するが、その量は少ない。本県での分布も希で、森林伐採や遷移の進行、風水害などにより消滅した生育地が多くなっている。

県内分布	耶馬溪地区, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	本州(東北地方以南), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国
生育環境	丘陵地から低山地の林内多湿地。
現状	森林伐採や林道工事等で消滅した生育地が多い。現在生育が確認できるのは数か所だけで、個体数もごくわずかである。
備考	

イヨクジャク

学名 *Diplazium okudairae* Makino

目名

目名学名

科名 イワデンド科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(耶馬溪地区, 北川上流域)
分布域	本州 (静岡県以西の太平洋側), 四国, 九州 (福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国
生育環境	丘陵地の溪流近くの湿った林内。
現 状	耶馬溪地区と北川上流域で採集された標本があるが, 近年生育が確認できない。
備 考	

コクモウクジャク

学名 *Diplazium virescens* Kunze

目名

目名学名

科名 イワデンド科

科名学名 Woodsiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

暖地性のシダ植物で、関東地方以西から九州北部にかけて希に分布する。本県では数か所で生育が確認されているが、生育地周辺の森林伐採が進み、生育環境の悪化で消滅した生育地もある。

県内分布	大分川・大野川丘陵地，豊後水道域，豊後水道後背地域
分布域	本州（関東地方以西），四国，九州（福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島），沖縄
世界的分布	朝鮮半島，中国，台湾，インドシナ
生育環境	低地のやや湿った林内。
現 状	県内数か所のスギ植林内で生育が確認されている。
備 考	

クラガリシダ

学名 *Dryotaenium miyoshianum* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 ウラボシ科

科名学名 Polypodiaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(耶馬溪地区)
分布域	本州(中部地方以西), 四国(愛媛・高知), 九州(大分)
世界的分布	台湾, 中国中部～南西部
生育環境	丘陵地の林内樹幹に着生。
現 状	1962年に九州では初めて耶馬溪地区で生育が確認された。風水害で着生していた樹木が流されたりして, 近年生育が確認できない。
備 考	

ホテイシダ

学名 *Lepisorus annuifrons* (Makino) Ching

目名

目名学名

科名 ウラボシ科

科名学名 Polypodiaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

温帯性のシダ植物で主に夏緑樹林帯に生育し、九州での分布は山地に限られる。本県では森林伐採、台風による倒木被害、生育環境の悪化などで個体数が減っており、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	山地林内の樹幹に着生。
現 状	生育地のブナ林内にわずかな個体の生育が確認できる程度である。
備 考	

ツクシノキシノブ

学名 *Lepisorus tosaensis* (Makino) H.Ito

目名

目名学名

科名 ウラボシ科

科名学名 Polypodiaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：掲載なし



[選定理由]

暖地性のシダ植物で、本州の一部と九州に分布するが、分布量は少ない。本県での分布は希で、森林伐採や林道工事、風水害などによる生育環境の悪化で、危険性が高くなった生育地がみられる。

県内分布	耶馬溪地区, 日田低地・丘陵地, 津江山地, 豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	本州(静岡・近畿地方), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国南部, 台湾
生育環境	低地や丘陵地の溪流沿いの林内の樹幹や岩上に着生。
現 状	耶馬溪地区と北川上流域の生育地では個体数も比較的多いが, その他の生育地では狭い範囲にわずかな個体が生育しているだけである。
備 考	

コウラボシ

学名 *Lepisorus uchiyamae* (Makino) H.Ito

目名

目名学名

科名 ウラボシ科

科名学名 Polypodiaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



【選定理由】

暖地性のシダ植物で、本州中部以南の沿海地に分布する。本県では豊後水道域の海岸近くに希に分布する。海岸の護岸工事や道路工事、生育環境の悪化などで生育地が減少している。

県内分布	(別府湾沿岸域), 豊後水道域
分布域	本州(伊豆半島以西), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	
生育環境	海岸や沿海地の岩上や石垣に着生。希に地上に生じる。
現 状	生育地のすべてで、少数の個体が見られるだけである。大分市の生育地では絶滅したと考えられる。
備 考	日本固有種

ヒメサジラン

学名 *Loxogramme grammitoides* (Bak.) C.Chr.

目名

目名学名

科名 ウラボシ科

科名学名 Polypodiaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



[選定理由]

北海道から九州にかけて広く分布するが、生育地と分布量は少ない。本県での分布も希で、道路工事やダム建設、自然林の伐採などにより消滅した生育地があり、絶滅の危険性が高まっている。

県内分布	耶馬溪地区, 日田低地・丘陵地, 津江山地, 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 台湾, 中国
生育環境	丘陵地や低山地の湿った岩上や樹幹にコケと混生する。
現 状	県内いずれの生育地でも, 個体数は減少傾向にある。
備 考	

イワヤナギシダ

学名 *Loxogramme salicifolia* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 ウラボシ科

科名学名 Polypodiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



[選定理由]

関東地方以西から九州に分布域をもつ小型シダ植物で、岩上や樹幹に着生する。自然林の伐採、道路工事、着生岩面の掘削などにより消滅した生育地がある。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 日田低地・丘陵地, 津江山地, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	韓国済州島, 台湾, 中国南部, インドシナ, ヒマラヤ
生育環境	丘陵地や低山地の林内の岩上や樹幹に着生。
現 状	県内各地に分布するが, いずれの生育地も個体数は減少傾向にある。特に樹幹着生でその傾向が顕著である。
備 考	

ヌカボシクリハラン

学名 *Microsorium buergerianum* (Miq.) Ching

目名

目名学名

科名 ウラボシ科

科名学名 Polypodiaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(日田低地・丘陵地)
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	中国南部, 台湾, インドシナ
生育環境	低地の林内岩上や樹幹に着生。
現 状	1979年に日田市内で採集した標本がある。生育地は道路拡幅工事で消滅した。
備 考	

オシャグジデンド

学名 *Polypodium fauriei* Christ

目名

目名学名

科名 ウラボシ科

科名学名 Polypodiaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



[選定理由]

温帯性のシダ植物で、九州での分布は山地に限られている。本県ではごく希に分布し、自然林の伐採や生育環境の悪化などで生育範囲が狭くなり、絶滅の危険性が高まっている。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	韓国済州島, 南千島
生育環境	山地林内の樹幹に着生。
現状	森林伐採や風水害による倒木被害などで、個体数が減少している。
備考	

オオクボシダ

学名 *Xiphopteris okuboi* (Yatabe) Copel.

目名

目名学名

科名 ヒメウラボシ科

科名学名 Grammitidaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

東北地方以西に希に分布する。本県では過去に津江山地での記録があるだけであったが、2008年に由布・鶴見火山群で生育が確認された。生育地では、わずかな個体が岩面の狭い範囲に着生しているだけで、生育環境の変化による消滅が危惧される。

県内分布	(津江山地), 由布・鶴見火山群
分布域	本州(東北地方以南), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	台湾
生育環境	山地の樹幹や岩上に着生。
現 状	1930年に津江山地で採集された文献記録がある。由布・鶴見火山群の生育地は、山頂付近の岩面に少数の小さな個体が着生しているだけである。
備 考	

デンジソウ

学名 *Marsilea quadrifolia* L.

目名

目名学名

科名 デンジソウ科

科名学名 Marsileaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)



[選定理由]

県内分布	(耶馬溪・国東丘陵地, 別府湾沿岸域)
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	ヨーロッパ, インド北部～東アジア
生育環境	低地や丘陵地の水田や湖沼。
現 状	昭和30年代には県内各地に生育していた。過去に生育が確認されていた生育地でも, 近年確認できない。
備 考	

サンショウモ

学名 *Salvinia natans* (L.) All.

目名

目名学名

科名 サンショウモ科

科名学名 Salviniaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省： 準 (NT)



【選定理由】

全国的に広い分布域をもっていたが、水田除草剤や土地改良工事などにより生育地が激減している。本県では昭和30年代までは各地に分布していたが、現在確実な生育地は1か所だけで、水質汚染等により絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域
分布域	本州(東北地方以南), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分)
世界的分布	ヨーロッパ, アジア, アフリカ, アメリカ
生育環境	低地の水田や湖沼。
現 状	近年確実な生育が確認できる生育地は, 別府湾沿岸域にあるため池1か所だけである。
備 考	

アカウキクサ

学名 *Azolla imbricata* (Roxb. ex Griff.) Nakai

目名

目名学名

科名 アカウキクサ科

科名学名 Azollaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)



【選定理由】

水田除草剤や土地改良工事などにより全国的に生育地が激減している。県内でも昭和30年代までは各地に分布していたが、現在では数か所の生育地を残すのみで、絶滅の危険性が高まっている。

県内分布	中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域, 豊後水道後背地域
分布域	本州(宮城, 関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	朝鮮半島南部, 中国, 台湾, インド
生育環境	低地の水田や湖沼。
現状	現在生育が確認できているのは, 県中北部のため池やハス田などの数か所と県南東部の農業用水路だけとなっている。近年近縁の外来種と思われるものが県内各地で散見されるようになった。
備考	